日本建設機械化協会
J.C.M.A.

建設の機械化

1975年8月号　No. 306

目　　次

□巻頭言　希望と提言……石上立夫／1
東京港廃棄物埋立護岸の建設事業……菅野辰男／3
大阪北港廃棄物埋立処分地造成事業……寺川誠／10
大島大橋の工事状況—多柱基礎施工報告—……沼田耕一／15
沖縄CTSシーバース建設工事……馬場雄計／24
福岡都市高速道路1号線箱崎地区高架橋の施工……梅田辰一／31
傾斜板利用による廃水の処理……田中和美／40
□随想　つちおと……高岡博／48

グラビヤ——首都高速湾岸線の施工状況

□昭和49年度官公庁・建設業界で採用した新機種
建設省……田中康之・大城忠士／51
運輸省港湾局……奥出律／60
日本国有鉄道……五十嵐伊三郎／63
日本鉄道建設公団……桜沢昇／67
日本道路公団……秋田勲／71
第26回定時総会開催……／75
□建設機械化研究所抄報 <No. 111>
321. いすゞSKS390型除雪ダンプトラック……／86
322. 富士-KUKA 246/6.4型真空式ロードスイーパ……／87
323. ブリヂストン 10.00-20-14 PR リブタイヤ・ラグタイヤのけん引性能……／88
□文献調査
建設工事騒音の管理……広報部会・文献調査委員会／90
□統計
建設工事受注額・建設機械受注額および建設機械卸売価格の推移……調査部会／92
ニューズ……(編集部)／89
行事一覧……／93
編集後記……(鈴木(貴)・木下)／94

◀表紙写真説明▶
TCD 221/DH-DK
ボーラーロータリドリル
川崎重工業株式会社

鉱山，ダム工事等の大型土木建設工事の発破せん孔作業の合理化が進んでいる。本機はオーストリア・ボーラー社から技術導入が予定されているもので，全油圧式かつ精緻な設計で高効率せん孔が可能であり，本機の主な特長は次のとおりである。

① 15気圧コンプレッサの搭載により硬岩層ではダウンザホールドリルが威力を発揮する（交換は約3分）。
② せん孔速度が速い。
③ 全油圧式で操作が極めて簡単である。
④ 騒音とくり粉を排除した公害防止設計が施されている。

また，本機の能力は次のとおりである。

総　重　量：18,000 kg
エンジン出力：油圧駆動用……73 HP
　　コンプレッサ用……119 HP
コンプレッサ吐出圧力：15 kg/cm²
ロッド直径：76 mm, 89 mm, 101 mm, 127 mm
ロッド長さ：6,000 mm